

令和 8 年度  
佐 賀 河 川 事 務 所 予 算 概 要

記者発表資料

令和 8 年 4 月  
国 土 交 通 省 九 州 地 方 整 備 局  
佐 賀 河 川 事 務 所

【問い合わせ先】

佐賀河川事務所      TEL) 0952-41-8801(代)

技 術 副 所 長      伊藤 嘉徳      (内線 204)

流 域 治 水 課 長      梅田 光      (内線 351)

佐賀河川事務所 HP (リンク先)      :      <https://www.qsr.mlit.go.jp/saga/>

## 佐賀河川事務所 令和8年度の事業費

### 1. 全体事業概要

国土交通省九州地方整備局佐賀河川事務所では、一級河川である嘉瀬川水系嘉瀬川・祇園川及び筑後川水系城原川・佐賀江川・田手川（国管理区間）の改修や維持修繕・管理、嘉瀬川ダム・佐賀導水路の管理や城原川ダムの建設など、佐賀平野の一体的な治水・利水の管理及び機能強化の推進を図っています。

令和8年度も引き続き、激甚化・頻発化する水災害から地域の皆様の命と生活を守るとはもとより、持続的な地域の経済活動の確保、自然環境や賑わいの保全・創出も図りつつ各事業の推進を図ります。

### 2. 令和8年度予算

(単位:百万円)

予算区分・費目		令和8年度 当初	令和7年度 補正、推進費	令和7年度 当初
嘉瀬川	河川改修費	378	182	338
	河川維持修繕費	430	132	414
	総合水系環境整備事業費(嘉瀬川ダム)	1	-	1
	堰堤維持費(嘉瀬川ダム)	431	32	430
	計	1,239	346	1,183
筑後川	河川改修費	193	50	193
	河川維持修繕費	278	143	271
	堰堤維持費(佐賀導水路)	712	85	708
	堰堤改良事業費(佐賀導水路)	420	-	284
	河川総合開発事業費(城原川ダム)	1,232	1,347	1,121
	計	2,835	1,625	2,577
合計	河川改修費	571	232	531
	河川維持修繕費	708	275	686
	総合水系環境整備事業費	1	-	1
	堰堤維持費	1,143	117	1,138
	堰堤改良事業費	420	-	284
	河川総合開発事業費	1,232	1,347	1,121
	計	4,074	1,971	3,760

※1: 本表は、工事諸費等を含みません。

※2: 予算額は、百万円単位での丸め表示としています。

## ■事業概要

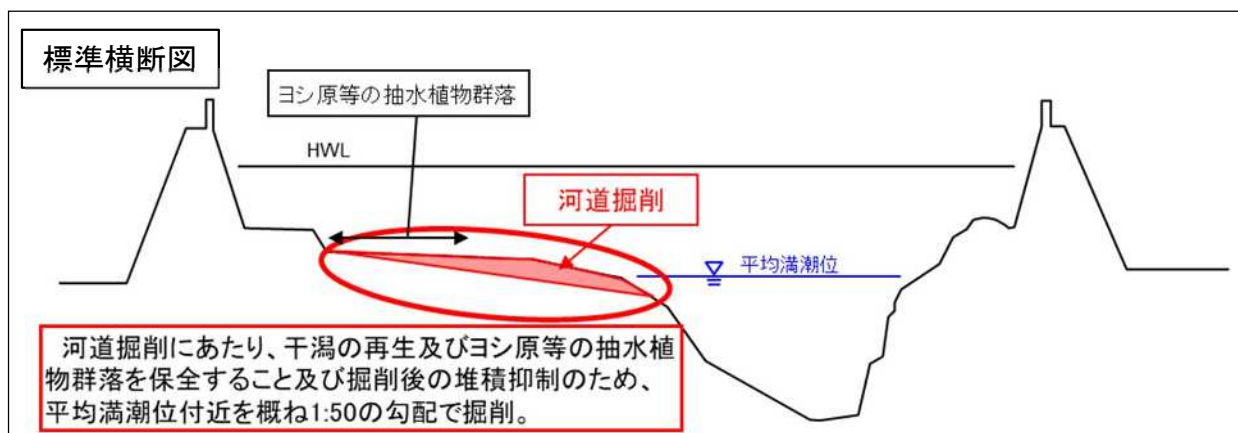
【佐賀県佐賀市嘉瀬町十五地先】

嘉瀬川水系では、気候変動による降雨量の増加を考慮したうえで、今後概ね20年間の整備目標及び具体的な整備内容等を示す「嘉瀬川水系河川整備計画」を令和8年3月に変更しました。

新たな河川整備計画に基づく河道掘削に新規着手し、治水安全度の向上を図ります。

## ■令和8年度の予定

河道掘削  $V = 6 \text{ km}^3$



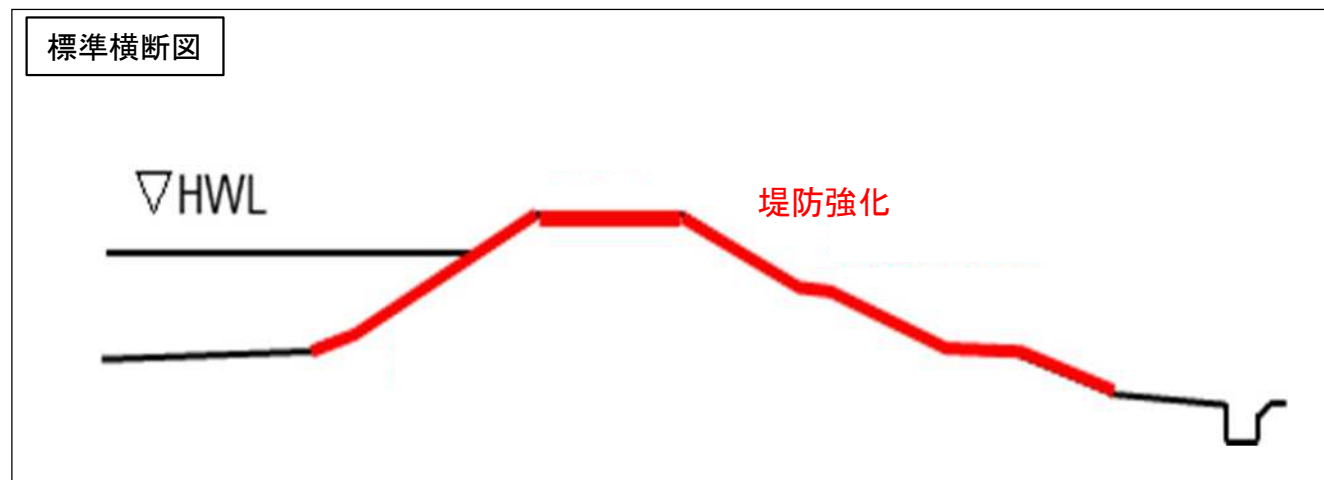
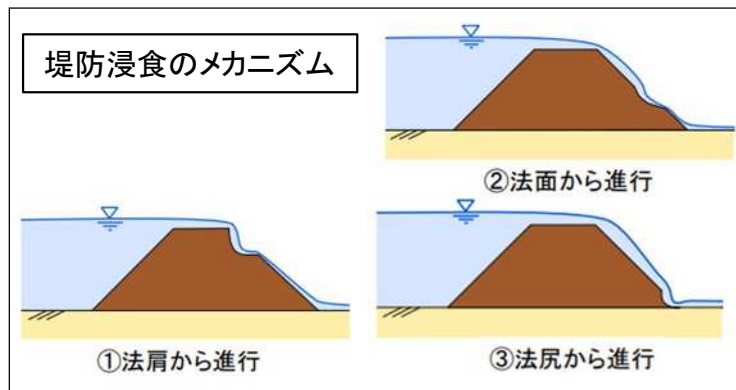
## ■事業概要

【佐賀県小城市三日月町金田地先】

橋梁等の影響を受け洪水時に水位が上昇しやすい区間において緊急的な対策を講じるため、洪水時に越流した場合でも決壊しにくい「粘り強い河川堤防」の整備を行います。

## ■令和8年度の予定

堤防強化 L=約80m



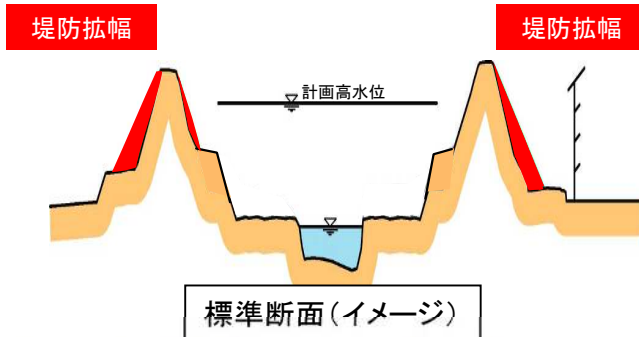
【佐賀県神崎市千代田町直鳥地先】

## ■事業概要

筑後川水系城原川は、近年「氾濫注意水位」を超える洪水が多数発生しており、特に平成21年7月及び平成22年7月、令和5年7月には、堤防の設計基準となる「計画高水位」を超える洪水の発生により、野越しからの越水、堤防の漏水や法崩れ等の被害が発生しました。また、佐賀平野は低平地であるとともに、城原川は天井川であり、ひとたび氾濫すると洪水が広範囲に広がるなど甚大な被害の発生が懸念されるため、堤防を拡幅することにより水害に対する安全度の向上を図ります。

## ■令和8年度の予定

堤防拡幅・・・約 L=50m



令和5年7月出水の状況 (R5年7月10日7:00時点)



位置図



# 河川の維持管理

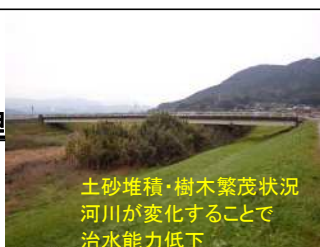
## 事業の目的

佐賀河川事務所では、嘉瀬川水系の嘉瀬川、祇園川、及び筑後川水系の城原川、田手川、佐賀江川を管轄し、その堤防延長は約70km、樋管・水門・堰・排水機場等河川管理施設約60施設を管理しており、治水、利水、環境の保全・創出を目的として、河道、堤防、施設、流水、河川空間の管理を実施します。

## 事業の概要

- ①河道管理：土砂堆積や深掘れ、樹木繁茂などの河川の変化を把握し、治水能力が低下しないように河道を管理します。
- ②堤防管理：堤防は古くから築造され、質・強度ともに不均一のため、定期的に巡視や点検を行い、異常の早期発見に努めます。
- ③施設管理：洪水時に堰、水門、排水機場等の操作を実施するとともに、定期的な点検や補修を行い、確実に機能発揮できるよう施設を管理します。
- ④流水管理：安全で安定した水利用と環境を維持するため、河川流量や水質を監視します。また、河川にオイル等が流出した場合（水質事故）は、関係機関と連携し、速やかに回収します。
- ⑤空間管理：地域住民が安全・快適に利用できるように定期的に巡視し、状態監視を行います。また、環境維持のためゴミ拾いや外来種の駆除等を地域住民と連携して行います。

### ①河道管理



### ②堤防管理



### ③施設管理



### ④流水管理



### ⑤空間管理



## ■事業の概要

嘉瀬川ダムは、有明海から30km上流、「緑と清流と温泉の町・富士町」に建設されたダムであり、周辺には北山ダムや桧原湿原といった自然環境資源を有しており、多種多様な動植物が見られます。

ダム湖は、湖面を利用したボート競技等の開催や、湿性地を利用した野外学習など、多様なイベントが年間を通して開催されていますが、段差等が生じ利用しづらい状況となっており、地域のご意見等も踏まえ改善等を図っています。

また、令和6年9月、10月にダム湖(富士しゃくなげ湖)で開催された「2024国スポ(国民スポーツ大会)」では、ローイング(ボート)、カヌースプリント競技が実施され、ダム湖の利活用が盛り上がりを見せました。

水源地域ビジョンの方針である「水恵無限」～水がもたらす恵みを活かしたふるさとづくり～をさらに推進していくため、湖面利用に係る安全施設、基盤整備、環境の保全・活用のための整備を促進します。

## ■事業の目的

佐賀市の進めるまちづくりの取り組みと連携しながら、ダム湖利用者の安全性の向上、巡視・管理の円滑化を図ります。

## ■令和8年度 実施内容

モニタリング(ダム湖利用実態調査) ※畑瀬地区及び音無地区整備後



## ■事業の概要

嘉瀬川ダムは、洪水調節・流水の正常な機能の維持・かんがい用水や都市用水の補給及び発電を目的とする多目的ダムです。

## ■事業の目的

### ①洪水調節

(ダム地点の計画高水流量2,200m<sup>3</sup>/sの内、1,370m<sup>3</sup>/sの調節を行う。当面は、下流の流下能力に合わせて調節する)

### ②流水の正常な機能の維持(下流河川の流水の正常な機能の維持と増進を図る)

### ③かんがい用水(国営筑後川下流土地改良事業(佐賀西部地区:4市3町)に対し、最大8.84m<sup>3</sup>/sの用水を補給する)

### ④都市用水(佐賀市に対し、1日最大2,000m<sup>3</sup>(最大0.023m<sup>3</sup>/s)の水道用水の取水を可能とする。

また、王子マテリア(株)に対し、1日最大3,000m<sup>3</sup>の工業用水の取水を可能とする)

### ⑤発電(嘉瀬川発電所(九州電力(株))において、最大出力2,800kwの発電を行う)

## ■令和8年度 実施内容

ダム維持管理設備の点検・整備、水文・水質観測、フォローアップ調査(河川水辺の国勢調査等)、流木処理等



# 令和8年度 堰堤維持事業（佐賀導水路）

## ◆事業の概要

佐賀導水路は、筑後川、城原川及び嘉瀬川を導水路（管路、開水路）で連絡する流況調整河川（総延長：約23km）で、洪水調節、内水排除、流水の正常な機能の維持（河川維持用水・河川水質浄化用水）および水道用水への補給を目的としています。

## ◆事業の目的

- ①洪水調節（巨勢川調整池は周辺の家屋などの浸水被害及び巨勢川下流部の洪水被害軽減を図る）
- ②内水排除（導水路に設置する8ヶ所のポンプ施設によって洪水時の内水被害軽減を図る）
- ③流水の正常な機能の維持（嘉瀬川及び城原川の流況改善及び佐賀市内の河川への水質浄化用水の補給）
- ④水道用水の確保（佐賀西部地区5市3町への水道用水の補給）

## ◆令和8年度の予定

佐賀導水路の施設運用及び管理施設の維持・管理



## ◆事業の概要

佐賀導水路は平成21年に完成し、洪水調節・内水被害の軽減排除、不特定用水及び水道用水の補給を目的とした施設です。

近年、特にポンプ施設の不具合が頻繁に発生していることから、出水時において安定的に施設機能が発揮できないおそれがあるため、施設の抜本的改良及び高度化等を実施し、信頼性・効率化等の向上を図り、併せて耐震化対策も実施します。

## ◆事業の目的

老朽化したポンプ施設の機能アップ（メンテナンス性向上、分散化）や遠隔制御の二重化等を実施し、故障等によるポンプ停止リスクの最小化を図ります。また、耐震化が必要な施設の耐震対策を実施します。

## ◆令和8年度の予定

ポンプ場基礎工事、ポンプ場設備更新設計 等

### 位置図



